



2013年11月28日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

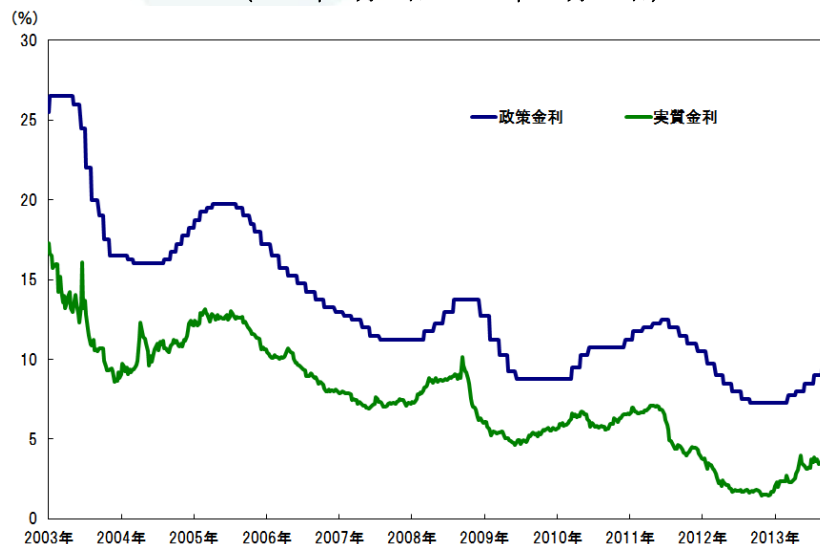
ブラジルの政策金利の引き上げについて

ブラジル中央銀行は、現地 2013 年 11 月 26 日および 27 日に COPOM（定例金融政策委員会）を開催し、Selic（政策金利）を 9.5%から 10.0%に引き上げることを決定しました。今年に入り 6 回目の利上げとなり、年内最後の会合となりました。政策金利が 10%台に乗せるのは 2012 年 3 月以来となります。

前回（10 月 9 日）COPOM 後の声明では、「全会一致で政策金利の引き上げを決定した」と述べるにとどまり、今後の利上げ打ち止めに向けて、利上げ幅を縮小する可能性は示されませんでした。今回の会合後の声明は、来年の利上げ継続の有無を見極めるポイントになるとの見方から市場での注目度合いが高まるなか、今回の利上げも委員会メンバーの全会一致であったことから、来年 1 月の COPOM で引き続き利上げが行われるとの見方が優勢であるとの報道がされております。

11 月中旬ブラジルの IPCA（消費者物価指数）は、前年同月比+5.78%と市場予想を下回る伸びとなり、落ち着きを見せているものの、中銀の目標とする 4.5%より高い水準にあります。また、レアル安をくいとめる通貨安定策としての為替介入プログラムについては、今後の継続については未定との中銀からの発言もありました。それらを受けて大きな動きが手控えられるなか、今回の政策金利の引き上げは、市場ではほぼ織り込み済みであったことから金融市場への影響は限定的と見込まれており、28 日早朝の東京時間の為替市場は比較的落ち着いた推移となっております。

＜ブラジル政策金利と実質金利の推移＞
(2003年2月1日～2013年11月27日)



2013年11月27日
9.5%→10.0%へ
0.5%の引き上げ

*政策金利：Selic を使用
*実質金利：名目金利とインフレ率
を使用し算出
(データ出所：ブラジル中央銀行)

本資料は、BNP パリバアセットマネジメント ブラジルが作成した資料をもとに、BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解等を提供することを目的として、上記の時点で作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。